【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【公開番号】特開2016-209002(P2016-209002A)
【公開日】平成28年12月15日(2016.12.15)
【年通号数】公開・登録公報2016-068
【出願番号】特願2015-92185(P2015-92185)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成29年12月20日(2017.12.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
前面側に遊技球が流下する遊技領域が形成された板材と、
前記遊技領域内に所定の配列で設置され、前記板材に形成された複数の釘孔に対して正面側から設置された複数の釘と、
前記板材の背後に設けられ、前記配列内で所定の位置にある特定の釘孔に対向する開口を前面側に有し、この開口から奥行方向に延びて背面側が塞がれた区画室と
を備えたことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
請求項１に記載の遊技機において、
前記区画室は、
前記開口の輪郭が前記特定の釘孔の輪郭よりも大きく形成され、これら２つの輪郭を正面側から重ね合わせてみたときに前記特定の釘孔の輪郭が前記開口の輪郭の内側に収まる位置にあることを特徴とする遊技機。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の遊技機において、
前記区画室は、
前記開口から奥行方向に延びた筒形状に形成されていることを特徴とする遊技機。
【請求項４】
請求項１から３のいずれかに記載の遊技機において、
前記板材が光透過性を有しており、
前記板材の背面側に配置されて前面に複数の発光体を有する電飾板と、
前記板材と前記電飾板とにより挟まれる位置に設けられ、前記発光体が発する光を所定の範囲内で前記板材の前面側へ反射させるリフレクタとをさらに備え、
前記区画室は、
前記リフレクタの前記特定の釘孔の背後に位置する部位に前記開口が位置付けられていることを特徴とする遊技機。
【請求項５】
請求項１から４のいずれかに記載の遊技機において、
前記板材の前面に貼付された透明フィルムから構成され、少なくとも一部に着色又は絵

柄のいずれか一方が施された加飾部を有する加飾フィルムをさらに備え、
前記区画室は、
前記加飾部の貼付された前記板材の後方位置に形成されていることを特徴とする遊技機
。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
そこで本発明は、作業効率を向上させることができる技術の提供を課題とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
本発明によれば、作業効率を向上させることができる。